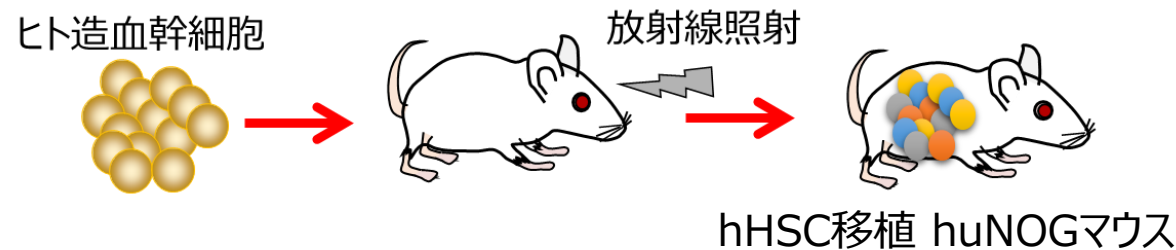


ヒト造血幹細胞 (HSC) 移植ヒト化NOGマウス作製方法



- 6 週齢の NOG マウスを購入し、約 1 週間順化飼育します。
- マウスに X 線を照射し、マウス由来骨髄細胞の一部を殺傷します。(お客様の施設で作製する場合、ブスルファンによる前処理でも実験可能です。)
- X 線照射後24時間以内に、ヒト臍帯血由来造血幹細胞 (CD34⁺, HSC) 3~5×10⁴ 個を尾静脈から移入します。
- HSC 移入 11 週後には、ヒト細胞が末梢血中に分化しています。
- この時点で、フローサイトメトリーにより、ヒト白血球の生着率を測定します。
- インビボサイエンスが作製するヒト化マウスの場合、通常ヒト細胞キメラ率 25 %以上のマウスを納品いたします。
- 事前にキメラ率のデータ (hCD45⁺細胞数/(hCD45⁺細胞数+mCD45⁺細胞数)) を提示いたします。
- オプションとして HSC 移入 1 週間で納品することも可能です。この場合のキメラ率の保証はいたしかねます。
- ヒト造血幹細胞移植ヒト化マウスはヒト由来材料を含んでいます。
- 細胞情報シートを事前に入手し、ご確認のうえ各機関のルールに従ってご使用ください。
(インビボサイエンスより既成のヒト化NOGマウスをご購入の場合、弊社より細胞情報シートを提供させていただきます。)

➤ NOG マウス、HSC 移植済みヒト化 NOG マウスのご注文、ご質問など

弊社ホームページのお問い合わせフォーム、電子メールまたはお電話にてご連絡くださいますようお願いいたします。

お問い合わせフォーム：<https://www.invivoscience.com/contact/> E-mail：sales@invivoscience.com

Tel：044-201-8518